取扱説明書

ジー・フォース　　発売元　エス・ピー・アイ
3-12-24　OOTORI-MASTUBARA-CITY　OSAKA　ZIP 580-0006

ダフトクラフト　E-mail;　wtr@daftcraft.com
URL; http://www.daftcraft.com

取扱説明書

⚠ 取り付け前の確認 ⚠

KIT内容の確認

・ELパネル3枚
・ELコントローラー＆インバーター
・取り扱い説明書
・結線カプラー2ヶ

取り付けに必要な道具

・+ドライバー（大と小）
・カッター
・はさみ
・ラジオペンチ
・リューターかドリルなど（穴あけ加工をする場合のみ）
・両面テープ（薄手と厚手）

⚠

● 本メーターパネルは、ショーカー及びモデルカーを対象とした商品ですので、
実際のメーターの数値やメーター本来の機能を低下及び破損させる可能性が
ありますので、予めご了承ください。

● メーターの取り外し方法
車両を購入したSHOP及び販売店にお問い合わせ頂き、マニュアルに沿った
取り外し及び取り付けを行って下さい。

● 本製品は防水機能を備えておりません。設置場所には水滴のかからない場所を選び、
必要に応じてコーキングなどの防水対策を行ってください。

● メーターパネルの接触不良及び運送破損によるクレームはお問い合わせください。
それ以外の取り付け、取り外しの際などにおけるクレームなどは一切お受けできません。

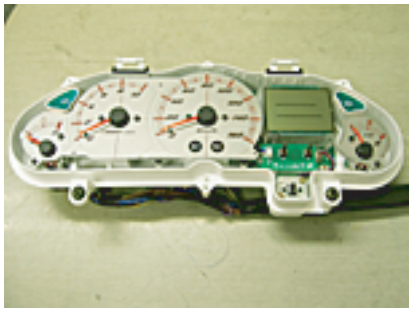
● 取り扱い前に必ず、スイッチとパネルを配線し、点灯確認を行ってください。
取り付け時におけるメーターの破損などのクレームは受け付けませんので、
細心の注意で作業を行ってください。

● 本メーターパネルは、使用頻度により経年変化いたします。予めご了承ください。

● カラー版取り扱い説明書はSPIホームページで御覧になれます。

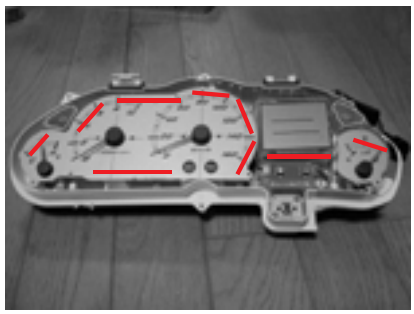
取扱説明書

1



メーターパネルアッセンを車両から取り外し, 透明のパネルカバーを取り外します。

2



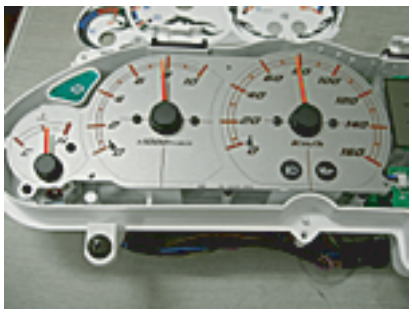
純正メーターのパネルを固定している６個のビスを取り外します。（再度使用するので、ねじ山をつぶさないように注意してください。）

左図中、赤くしている部分に両面テープを張るとELパネルの浮きを軽減することができます。

3

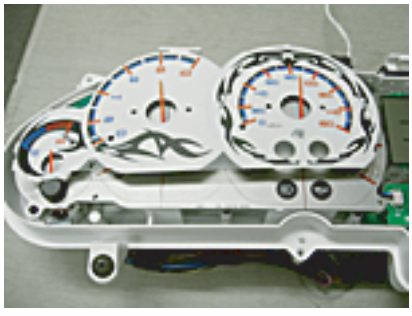
パネルカバーと干渉するため図のように電極部を折り曲げてください。ただし強く力を入れると折れてしまう場合があります。ゆっくり少しずつ行って下さい。癖付けてやる程度で構いません。

4



針の向きを図のようにそろえてください。

5



針に負担がかからないようにスライドさせていきます。

メーターの針が折れたり、抜けると、メーターアッセンごと交換になる可能性がありますので、折ったり、曲げたり、抜いたりしないように細心の注意のもと作業してください。

取扱説明書

6

純正メーターのパネルを固定している2本のビスを取り外します。（再度使用するので、ねじ山をつぶさないように注意してください。）
スピードメーター 同様に針に負担をかけないようにスライドさせて装着します。

7

デジパネ部分の電源部は非常にデリケートです。強く折り目をつけないで下さい。点灯しない場合がございます。
※折り曲げた際、ELパネルが浮く場合がございますので裏面を両面テープ等でとめると効果的です。

8

デジパネ部分の裏面です。パネルカバーと干渉を避けたい場合はカッターなどで干渉する部分を削ると効果的です。

※絶対に強く引っ張らないようにしてください。断線する場合があります。挟みこむ際、必ず少し余裕を持たせてください。

9

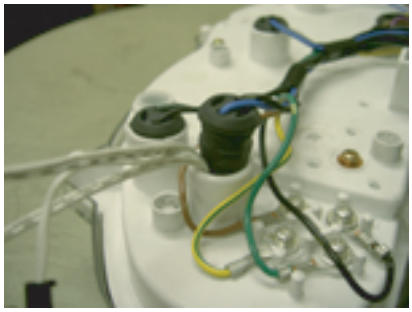
ELパネルを取り外した8本のビスで固定します。
・ネジを締めすぎるとパネルに傷が入る可能性があります。注意してください。
・針を軽く動かしてみて干渉するところがないか確認してください。

10

配線の処理
①左図のように、2箇所をカッターなどで２mm角程度の切り込みを入れて速度計と燃料計の配線を通します。Dragon Meterの場合は接続カプラーが大きいのでこの方法を推奨。

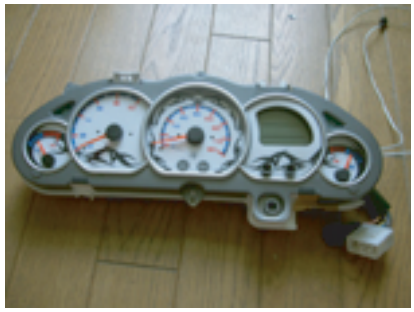
取扱説明書

11



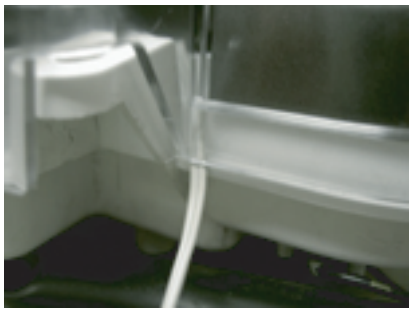
切り込みをいれて挟み込む以外にも、燃料計ソケット穴を流用するというやり方もあります。左図の様に通し終えた後、ソケットで挟むか、ホットボンド等でコーキングしてください。球を抜いてしまう場合は燃料計の針が薄暗くなりますが、ELパネルが発光しますので視認性には変化ないです。

12



デジパネ部分のパネルをかぶせます。配線をパネルとの間に挟む方法の場合強く押し込まないようにしてください。
配線は余裕を持たせて挟み込むようにしてください。

13



デジパネ部分の配線を透明パネルカバーで挟み込んだ写真です。

※絶対に強く引っ張らないようにしてください。断線する場合があります。挟みこむ際、必ず少し余裕を持たせてください。

14

速度計と燃料計の配線を透明カバーで挟み込んだ場合の写真です。

※絶対に強く引っ張らないようにしてください。断線する場合があります。挟みこむ際、必ず少し余裕を持たせてください。

透明パネルカバーのネジを固定した後、メーターアッセンを車体に再び取り付けをして、
ELコントローラーを接続する準備に移ります

取扱説明書

15

ELコントローラの設置です。
グローブBOXの上部もしくはグローブBOX内にELインバーターを設置。裏に両面テープを貼って固定して下さい。

16

グローブBOX上部にある隙間を利用してELコントローラーを通します。（インバーターをBOX内に設置の場合はその隙間に電源コードを通します。）

17

ELコントローラーは任意の場所に取り付けることが可能です。防水機能がございませんので、雨や水がかからない場所に貼り付けてください。なおコントローラー自身も発光します。

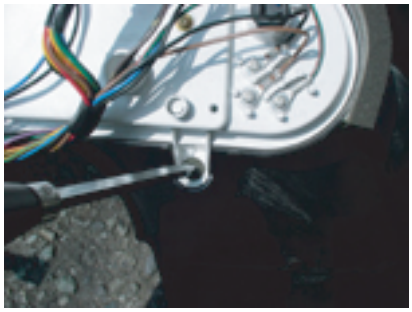
18

電源コードに結線カプラーを割り込ませます。
赤色の配線がプラス（+）で、黒がマイナス（-）となります。

19

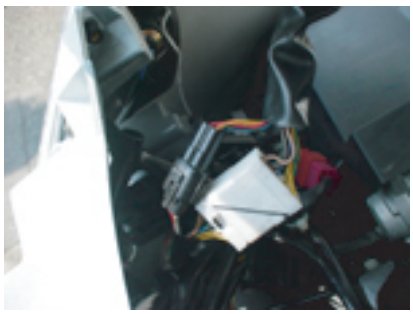
アクセサリーソケットの電源からELパネルの電源を取ります。
青が（+）で黒が（-）なので、青に赤、黒に黒の配線をそれぞれに結線カプラーを割り込ませます。
ELパネルの取り付けは以上で終了です。

20



メーターアッセンを固定します。

21



カプラーを接続します。このとき一度点灯確認をするようにしてください。

22

ELパネルの余ったカプラーを利用してOPTIONの
FREE PANEL2800円（税込2940円）を追加することができます。お気に入りのブランドやスポンサーロゴやチームのステッカー等を光らせることが可能です。

23

Z-FORCEのロゴを貼り付けてみました。
この商品は防水性がありませんので、車外に貼り付ける場合はしかるべき防水対策をしてください。

カウルを装着したら作業完了です。お疲れ様でした。
今までにはないナイトライディングをお楽しみください。

EL CONTROLERの取扱説明

通常のELコントローラーの場合

コードを上にした状態で
・右が色の濃淡の調整
・左がブルー、グリーンの切り替え
＊明るすぎる場合は濃度を下げてください。

振動センサー付きコントローラーの場合

コードを上にした状態で
・右が色の濃淡の調整
・左がマイクの感度調整
＊感度を敏感にすると点滅せず、常時点灯になります。
一番良い反応する場所を探ってください。

EL PANELのアレンジの参考例

Z-FORCEのELパネルはユーザーの個性を尊重するために、あえてメーター内に
余白を多く残したデザインとしています。その空間にお気に入りのブランドロゴや
チームロゴやキャラクターなどのステッカーを貼れるようにしています。
あなた自身のセンスでパネルを彩ってください。